

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	23229007	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	関節リウマチを対象としたヒト免疫学の確立	研究代表者 (所属・職)	山本 一彦（東京大学・医学部附属病院・教授）

【平成26年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる	
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

ヒトでも新たな抗体産生抑制能を持つ細胞としてLAG3 陽性制御性T細胞 (CD4⁺CD25⁺LAG3⁺) を同定し、関節リウマチ患者の末梢血中で有意に減少していることを示した点は高く評価される。また、制御性T細胞にIL-10 産生を誘導するBiP ペプチドを同定したことは、今後の新たな治療法開発に結びつく可能性のある成果である。ただ、この場合の制御性T細胞はCD4⁺CD25⁺Foxp3⁺細胞であり、このチームが研究してきた LAG3 陽性制御性 T 細胞とは異なることから、今後両者の関係について解析していく必要がある。

当初計画していた PAD14 解析、FCRL3 解析については遺伝子改変マウスを用いた詳細な解析結果が報告されていない。また、BiP 特異的 T 細胞の同定に用いていたテトラマー解析の特異性を再検討する必要が生じたことは問題であり、早急な改善が望まれる。